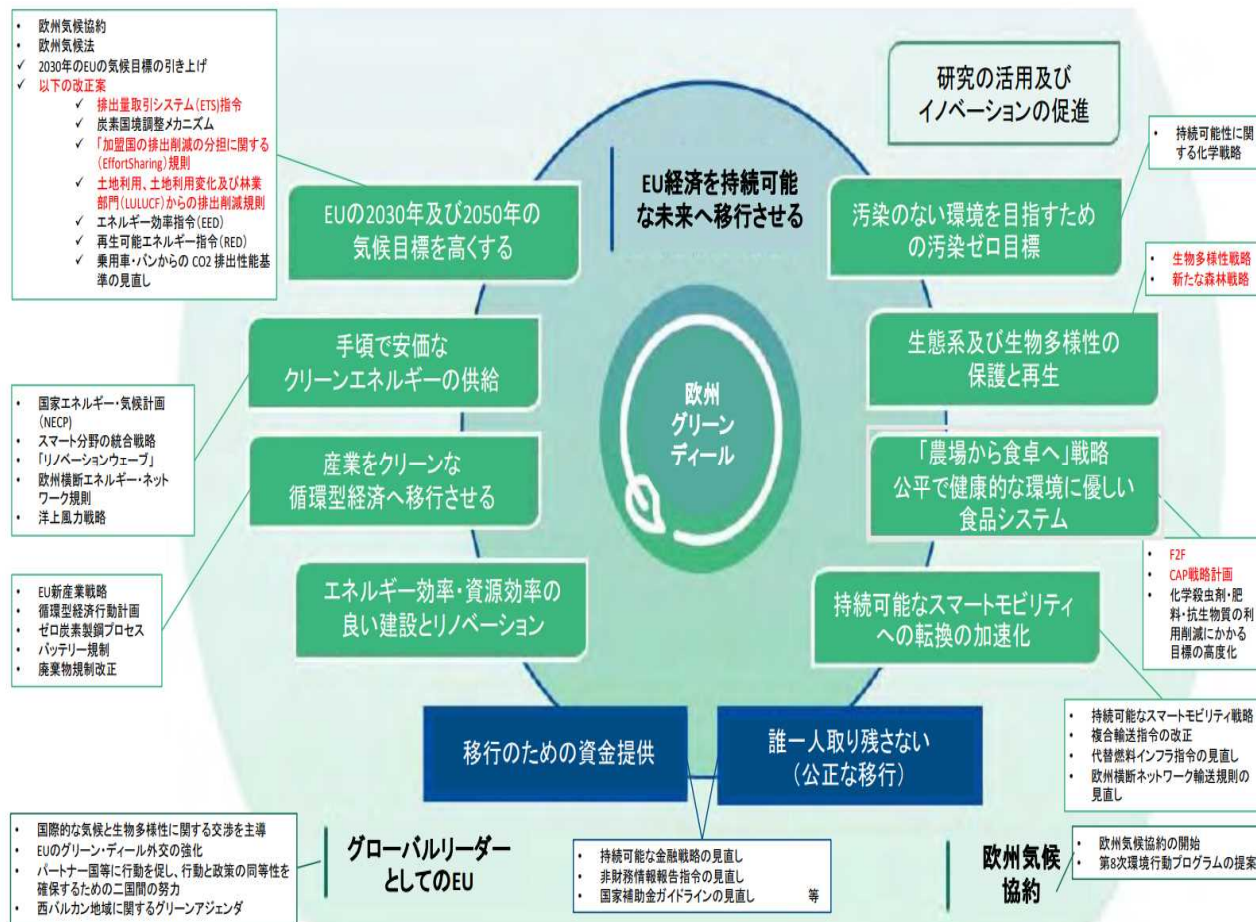


脱炭素社会に向けたEUの環境政策

**Japanese Domestic CIMAC
JICEF
September 2022**

欧州グリーンディール



2019年12月発表。気候変動と環境の悪化を「欧州と世界の存亡に関わる危機」と位置づけ、網羅的な対策を講じる。

2050年までに気候中立（Climate Neutral）、GHG排出実質ゼロを達成。

経済成長と資源の利用のデカップリング（切り離し）を行う。

誰もどの地域も取り残さない気候中立への移行を促す。

出典：JETROホームページ
<https://www.jetro.go.jp/world/reports/2021/01/862f1a922a2742b1.html>

農林水産省ホームページ
https://www.maff.go.jp/j/kokusai/kokusei/kaigai_nogyo/k_syokuryo/attach/pdf/itakur3-11.pdf

脱炭素社会に向けたEUの環境政策

政策名、発表時期	主な内容
欧州グリーンディール (2019/12 発表)	2050年までに気候中立、GHG排出実質ゼロを達成する。 - 経済成長と資源の利用の切り離しを行う。 - 誰も、どの地域も取り残さない気候中立への移行。
欧州気候法 (2020/3/4 法案発表)	2050年までに気候中立を達成する。 2030年のGHG排出削減目標を1990年比55%～60%減に引き上げる。 (従来は90年比40%減)
EUタクソノミー (2020/6/18法制化)	グリーンな投資を促すことを目的に、投資対象とすべき持続可能な経済活動の判定基準を定める。(2020年2月にタクソノミーの対象として原子力及び天然ガスを含めることを発表)
エネルギーシステム統合戦略 (2020/7/8 発表)	- エネルギー効率第一の原則適用強化 - 循環型エネルギーシステムの構築 - 再生可能エネルギーの推進 - 脱炭素化の推進 - 水素、CCUSの促進・支援
EU水素戦略 (2020/7/8 発表)	2020-24年 6 GWの再エネ利用水素の製造設備 2025-30年製鉄業、運輸部門（海運含む）への水素利用 2030-50年技術の成熟、さらなる普及

脱炭素社会に向けたEUの環境政策

政策名、発表時期	主な内容
EU洋上再生可能エネルギー戦略 (2020/11/19 発表)	2030年までに60GWの洋上風力発電の設置 (2020年は12GW) 2050年までに300GWの洋上風力発電と40GWの振興技術による - 洋上再生可能エネルギーの実現。
持続可能なスマートモビリティ戦略 (2020/12/9 発表)	2024年までに提案される82のイニシアチブ・行動計画。 (2030年までのゼロエミッション船の導入を含む)
持続可能なブルー経済戦略 (2021/5/17 発表)	- 海事関連分野における欧州グリーンディールとコロナ危機からの復興を両目標の達成を目指すもの。 2030年までにゼロエミッション船の導入、海運分野の脱炭素化を図るべく努力する。
Fit for 55パッケージ (2021/7/14 提案発表)	2030年にEUのGHG排出量55%削減 (1990年比) を達成するための政策パッケージ。 - EU-ETS(EU 排出量取引制度)への国際海運の適用、再生可能エネルギー指令 (RED) 改正、エネルギー課税指令 (ETD) 改正、代替燃料インフラ指令 (AFID) 改正、FuelEU Maritimeイニシアチブ等複数の政策提案により、<u>水素を含む代替燃料への移行を促す。</u>
TEN-T政策改正提案 (2021/12/14 提案)	船舶を含むあらゆる輸送交通手段においてGHGゼロ排出または低排出のソリューション及びインフラ導入を目指す。

Thank you for your attention

